

20
23
03
05

神奈川県多文化共生の会 日曜サロン 「剪纸（切り紙）の体験教室」を開催



© NPO法人神奈川県多文化共生の会

3月5日の日曜サロンは講師に張振健さんを迎え、中国の伝統的な民間工芸の「剪纸（切り紙）」を教えて頂きました。

張さんは幼い頃にご自身のお母さんが教えていた切り紙教室でお手伝いをされていたそうです。剪纸には多様なデザインがありますが、今回は色紙を折ってハサミで切る方法で作る作品を教えていただきました。折ってから切ることで左右対称の絵柄になり、これを数枚貼り合わせて立体にすると一気に見栄え度があがります。とっても素敵な作品になりました。

剪纸のデザインには、人々の願いや憧れ、動物や縁起の良いものが多く使われます。

今回作った「双喜字」（【喜】の字が2つ）と呼ばれる中国では結婚式に欠かせないお祝いの文字や、「春」の到来を喜ぶものなど、「漢字」デザインの物は特に、漢字1文字1文字の意味を通して、長い長い歴史の中で中国の人々が大切にしてきた「喜び」を感じることができました。国は違えど漢字を使う文化で生きている者同士、言葉にしなくても伝わることなのかもしれません。



総勢25名、小さな子どもたちも一緒に手を動かし、和気藹々とした雰囲気のととても楽しい会になりました。

←講師で北京出身の張振健さん

ハサミと紙があればすぐに出来て、画用紙や包装紙を使って作れば異なる雰囲気仕上がるのも剪纸の魅力。お家でも気軽に楽しめますね。